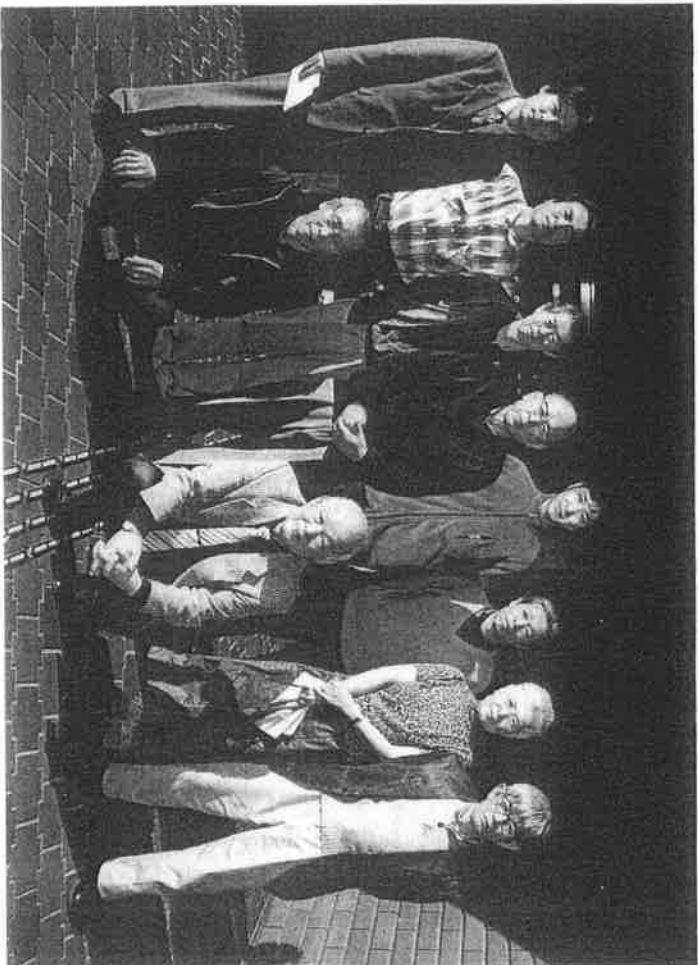


肥後象が心振興会



概要

設立年月 平成14年6月
会長 白木光虎(しらき みつとら)
会員数 10事業者
住所 熊本市新南部3丁目10-48
主な活動地 熊本市

地域文化活動部門

肥後象がんに、江戸時代初期から武具の装飾技術として発展し、肥後金工として全国的にも高く評価されています。

肥後象がん振興会は、このように歴史のある伝統技術の保存と継承に努めてきた十の事業者が集まって、国の伝統的工芸品の指定を受けるために平成十四年六月に設立されました。

平成十二年から県伝統工芸館で開かれている肥後象がん講座では、当振興会の象がんに師が講師を務めており、自らの工房以外でも伝統技術を一般の受講者に教え、その普及・継承に貢献してきました。

会の設立後、会員自らが改めて歴史や技法などの再確認を行い、国の伝統的工芸品の指定を受けるための体制づくりに取り

組み、その結果、平成十五年三月、国の指定を受けることとなりました。象がん部門での国の指定は、肥後象がんが国内で初めてのことな

り、平成十六年一月には大阪で展示会を開催するなど、肥後象がんのブランドを広めるために県外でも積極的に活動していま

す。

国の伝統的工芸品の指定は熊本県では初めて（天草陶磁器・小代焼と同時）であり、県内の他の工芸家に大きな刺激を与えており、肥後象がん振興会の今後の活動が地域文化の発展に大きく寄与するものと期待されています。

これまでの活動歴

平成十二年 (二〇〇〇)	県伝統工芸館で肥後象がん講座開始 象がんに師が講師を務める 受講者数二〇名。以後毎年開催	平成十三年三月 (二〇〇一)	肥後象がん講座発表会（県伝統工芸館）
平成十四年三月 (二〇〇二)	肥後象がん講座発表会（県伝統工芸館） 肥後象がん振興会設立	平成十五年三月 (二〇〇三)	国の伝統的工芸品に指定
六月		十月	展示会（熊本市）
		十一月	展示会（福岡市）
平成十六年二月			展示会（大阪市）